第二号書式

物　納　財　産　明　細　書

（その一　有価証券）

証券種別	枚数	券面額	券面記号番号及び回数別	収納価額				沿革	備考
				単価		合計			
				円		円			
計									

備考

一　用紙寸法日本工業規格Ａ４

二　証券種別欄には、何々国庫債券、何々株式会社株式、何々株式会社社債等と記載すること。

三　沿革欄には、何年何月何日何某より収納と記載すること。

四　登録国債及び社債等登録法により登録されている登録社債等については、登録済通知書の番号及び登録簿の登録番号を備考欄に記載すること。

（その二　不動産）

所在	種目	構造（又は細分）	数量	家屋の建設年月日	賃貸価格		収納価額		沿革	備考
					円		円			
計										

備考

一　用紙寸法日本工業規格Ａ４

二　種目欄には、土地については、地目を家屋については、事務所建、住宅建、工場建、倉庫建又は雑屋建の別を、立木については、樹種を記載すること。

三　構造欄には家屋につき、その木造、鉄造、土蔵造、煉瓦造、石造、人造石造、コンクリート造、鉄筋コンクリート造、鉄骨煉瓦造又は鉄骨鉄筋コンクリート造等の別を記載し、なお平屋建、二階建等の別及び地下室又は屋階のあるものは、その旨附記すること。

四　数量欄には、土地については、面積を、家屋については建面積及び延べ面積を、立木竹については、材積又は本数を記載すること。

五　沿革欄には、何年何月何日何某より収納と記載すること。

六　土地については、その地上に生育する樹種を、敷地を家屋とともに収納したときは、その旨を、その他参考となるべき事項を備考欄に記載すること。

（その三　船舶）

船籍港	種類及用途	名称	構造（又は細分）	総噸数	純噸数	大きさ			進水年月	収納価額		沿革	備考
						長さ	幅	深さ					
										円			
計													

備考

一　用紙寸法日本工業規格Ａ４

二　種類及び用途欄には、汽船、帆船、機帆船等の別及び旅客船、貨物船、漁船、油槽船等の別を記載すること。

三　名称欄には、何丸等と記載すること。

四　構造欄には、木造、鋼造等の別の外汽船については機関の種類及び馬力数、推進器の種類及び数、帆船については、帆装を記載すること。

五　大きさ欄の長さは垂線間長を記載すること。

六　沿革欄には、何年何月何日何某より収納と記載すること。

（その四　その他の動産）

種　　目	名　称　等	構　　造	数　　量	収納価額	沿　　革	備　　考
				円		
計						

備　考

一　用紙寸法日本工業規格Ａ４

二　種目欄には、絵画、工芸品、書跡等の別を記載すること。

三　名称等欄には、その動産の名称を記載すること。例えば、重要文化財の指定物件である場合には、指定書に記載されている名称及び指定書の記号番号を記載すること。

四　構造欄には、その動産の寸法、重量、材質その他の特徴を記載すること。

五　沿革欄には、何年何月何日何某より収納と記載すること。